

肝付町の 教育・文化・スポーツの

今

教育長
コラム
Vol. 7



今回のテーマ

部活動の地域移行



学校では、教科学習とは異なる集団での活動を通じた人間形成の機会や、多様な児童生徒が活躍できる場として、部活動が行われています。

部活動は、これまで教師による献身的な勤務の下で成り立ってきましたが、休日を含め、長時間勤務の要因であることや、指導経験のない教師には多大な負担となっており、児童生徒にとっても望ましい指導を受けられない場合があることが指摘されています。

このようなことから、国においては、「部活動を学校単位から地域単位の取組とする」ため、部活動の地域移行に向けた様々な施策が展開されようとしています。

スポーツ庁が設置した有識者会議が取りまとめた

「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」より

改革の方向性について

○まずは、休日の運動部活動から段階的に地域移行していくことを基本とする

○目標時期：令和5年度の開始から3年後の令和7年度末を目途

(合意形成や条件整備等のため更に時間を要する場合にも、地域の実情等に応じ可能な限り早期の実現を目指す)

○平日の運動部活動の地域移行は、できるところから取り組むことが考えられ、地域の実情に応じた休日の地域移行の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進

○地域におけるスポーツ機会の確保、生徒の多様なニーズに合った活動機会の充実等にも着実に取り組む

○地域のスポーツ団体等と学校との連携・協働の推進

※改革を推進するための「選択肢」を示し、「複数の道筋」があることや、「多様な方法」があることを強く意識

※文化部についても同様に、休日の活動から段階的に地域移行していくこととなっています。

休日の運動部活動の地域移行に向けた改革集中期間

進捗状況を検証し、さらに改革



- ・ガイドラインの改訂
- ・地方公共団体における推進計画の策定・実施
- ・公的な支援

※提言の内容はそれぞれスポーツ庁、文化庁のHPでご覧いただけます。

小規模校では、陸上競技などの個人で行う競技を部活動として設定せざるを得なかったり、野球などの集団で行う競技については他校と合同チームを編成して大会に出場せざるを得ないなどの課題も抱えています。

町においては、今後の部活動の在り方について関係団体等と検討を行っていくこととしています。



串良中学校・上小原中学校（鹿屋市）との合同チームで肝属地区総合体育大会に出場する波野中学校野球部



実質部員2名で練習を行う岸良学園（後期課程）ソフトテニス部